令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		宅地耐震化推進事業			コード	03130400-0601	
中事業名		宅地耐震化推進事業			計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	都市計画課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	13	住宅・市街地形成		款	08	土木費
	主要施策	04	安全で優良な住宅環境の向上		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	06	宅地耐震化推進事業
					中	01	宅地耐震化推進事業
根拠法令・条例等		防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策					
基本計画等		愛知県宅地耐震化推進事業（防災・安全）					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	宅地耐震化を推進するため、谷や沢を埋めた盛土や斜面に腹付けした盛土、地山との境界面における地すべり的変動を予測する。
対象	大規模盛土
意図（目的）	大規模な地震の発生に備え、宅地の耐震化を促進し、地すべり等の被害対策を推進することにより、地震時における人的・経済的被害を軽減する。
手段	大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドラインに基づく

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			0	0	0	0	16,940	12,909	500
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	4,517	3,933	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	12,423	8,976	500
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.62 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		4,046.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		0		16,955	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	南ケ丘地内の大規模盛土造成地について地盤調査と安定計算を実施し、活動崩落のおそれがある大規模盛土造成地の判断・抽出を行った。また、南ケ丘地区へ調査結果の周知を行った。
成果	国のガイドラインを参考とした安定解析の結果、谷筋を滑る大規模な滑動崩落並びにのり面滑り崩落は発生しない可能性が高いと予測される結果となった。
課題	今後は継続して市内の大規模盛土造成地の経過観察を、国のガイドラインに従って行っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	結果周知のため、当該地に居住する市民への周知チラシを作成し、南ケ丘区長に説明するとともに、回覧を依頼したが市民が不安を抱くような相談は受けていない。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		市内の大規模盛土造成地について今後は定期的に経過観察を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	○維持	●縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	○維持	●縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		国のガイドラインと他市町の手法を参考に計画的な経過観察の手法の検討を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	大規模盛土造成地において早期に第２次スクリーニングを実施すべき箇所の安定解析を実施する。				単位	箇所
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					2.00	2.00	0.00

【アウトカム指標】

指標名	大規模盛土造成地における安全性を確認する。				単位	箇所
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					2.00	2.00	0.00
式	安全率が１以上（滑動崩落の可能性が低い）＝第２次スクリーニングを実施すべき箇所						
指標の狙い	安定解析の結果に滑動崩落の可能性が低い（安全率１以上）ことを確認する。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名	緑化推進事業				コード	03140300-0301	
中事業名	緑化推進事業				計画区分	―	
担当部等	都市整備部			担当課等	都市計画課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	14	公園・緑地・景観		款	08	土木費
	主要施策	03	地域特性に応じた景観の維持・形成		項	04	都市計画費
					目	05	公園費
					大	03	緑化推進事業
					中	01	緑化推進事業
根拠法令・条例等	都市緑地法、日進市都市緑化推進事業補助金交付要綱						
基本計画等	日進市緑の基本計画、赤池箕ノ手地区緑化計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市内の公共施設を中心として植樹･植栽などによる緑化に努めるほか、日進市都市緑化推進事業補助金交付要綱に基づき、市民や事業者が行う優良な緑化事業へ経費の一部を補助することにより、市全体における緑化を推進する。また、赤池箕ノ手地区において、滅失する自然樹林地の代わりに街に緑を補完する事業を展開する。
対象	公共施設、緑化事業を行う市民や事業者
意図（目的）	都市化が進む本市において、開発により緑が滅失することを補うため、道路や公共施設などの市民の目に触れる箇所において緑化に努めるとともに、民間の優良緑化事業に対し補助金を交付することで、緑の保全の意識向上を図る。
手段	公共施設の緑化、市の緑化計画に基づく高木植樹の実施、民有地緑化に対する経費の一部補助

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			8,736	7,248	20,693	12,869	12,736	4,728	12,775
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	6,000	4,915	6,000	5,186	10,000	1,737	10,244
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	240	144	192	144	144	142	144
	一般財源		2,496	2,189	14,501	7,539	2,592	2,849	2,387
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.36 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		2,349.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				7,248		12,869		7,077	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	市内の公共施設を中心として緑化を行ったほか、市民や事業者が実施する優良な緑化事業に対して、その経費を一部補助することにより、緑化意識の高揚に努めた。加えて、寄せ植え教室を春と秋の２回開催するとともに、赤池箕ノ手線中央線（緑化計画対象路線）の植樹工事を実施した。また、行政改革推進委員会による外部評価で、様々な議論を行った。

成果	市民の緑化に対する意識の高揚や市内全体の緑化推進を図ることができた。
課題	市民の緑化に対する意識向上を図るための事業を進めてきたが、緑化に対する意識の高い方々の参加が多い状況であるため、新たな参加者を増やしていく必要がある。また、外部評価における課題に対して改善手法を検討していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	市ホームページや広報等により緑化推進事業の周知を行うことで、優良な緑化推進に対する都市緑化推進事業補助金を交付し、緑化を推進することができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		都市緑化推進事業補助金を交付し、緑化推進を図るとともに、寄せ植え教室も、春・秋の２回開催し、市民への緑化に対する意識向上や市民参加の機会を引き続き設ける。また、外部評価においては、課題に対する改善案を提示し、議論を踏まえながらできるところから改善を行っていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		外部評価の様々なご意見やご提言を踏まえ、早急な見直しが難しく各種の調整が必要な事案について、少しでも改善につなげていく。			

【アウトプット指標】

指標名	日進市都市緑化推進事業補助金の交付件数					単位	件
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					2.00	4.00	16.00

【アウトカム指標】

指標名	１人当たりの緑の募金額					単位	円
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					2.00	1.45	2.00
式	緑の募金総額／総人口						
指標の狙い	緑化意識の高揚を示す指標として、人口１人あたりの緑の募金額を用いる。緑化事業の進捗により、市民の緑化意識が高揚した結果、募金額の増加につながる。 135,872円／93,881人≒1.45（令和６年３月３１日時点）						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名	東部丘陵保全事業				コード	03180100-0401	
中事業名	東部丘陵保全事業				計画区分	―	
担当部等	都市整備部			担当課等	都市計画課		
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	18	自然環境の保全		款	08	土木費	
主要施策	01	緑の環境の保全		項	04	都市計画費	
				目	05	公園費	
				大	04	東部丘陵保全事業	
				中	01	東部丘陵保全事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等	日進市総合計画、日進市都市マスタープラン、日進市緑の基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	東部丘陵における岩藤新池周辺について環境保全型の公園を整備する。また、「ふるさとの森づくり」として、県営地域用水環境整備事業により、継続して岩藤新池を自然に親しむ憩いの場として整備する。さらに、東部丘陵地西部地区について、自然環境の保全に努める。
対象	東部丘陵
意図（目的）	本事業により、東部丘陵地の良好な自然環境の保全を行い、市民に広く貴重な自然を周知する。
手段	県営地域用水環境整備事業による整備、自然環境の保全

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			1,856	19,663	1,856	21,483	2,458	30,722	1,910
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,804	19,663	1,804	21,483	2,404	1,155	1,864
	一般財源		52	0	52	0	54	29,567	46
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.20 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		1,305.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				19,663		21,483		32,027	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	

令和 5年度に取り組んだこと	県営地域用水環境整備事業の未実施箇所について愛知県に整備の要望を行った。また、平成２７年に愛知県による散策路（管理用道路）の整備が完了し、引継ぎを受けた施設について維持管理として堤体の除草を行った。東部丘陵地西部地区の利活用については、地元との意見交換等をスムーズに進めるためにイメージイラスト図の作成を行った。
成果	東部丘陵地の良好な自然環境が保全された。また、東部丘陵地西部地区の利活用について、地元との意見交換等を進めていくための準備が整った。
課題	県営地域用水環境整備事業の未実施箇所については、再度、事業採択を受ける必要があるが、そのためにも今後の整備について愛知県と調整していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	岩藤新池全体の整備については、今後も事業を継続していく必要があるほか、東部丘陵地の良好な自然環境の保全が引き続き必要である。また、東部丘陵地西部地区の利活用についても地元と密な調整を行いながら検討を進めていく必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		未整備箇所の整備が早期に実現できるようにするため、愛知県との協議を行い、今後の整備の方向性を検討する。東部丘陵地西部地区の利活用については、令和５年度に作成したイメージイラスト図をもとに、地元との意見交換会等を丁寧に進めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		地元等との意見交換会等を踏まえ、利活用の方向性を具体的に定めていく。			

【アウトプット指標】

指標名	環境保全型公園用地取得面積				単位	㎡
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					3,048.00	0.00	3,045.00

【アウトカム指標】

指標名	用地確保率				単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					2.20	0.00	2.20
式	（公園用地取得面積＋公園用地借地面積）／公園計画面積（Ａゾーン：79.2ha）×１００						
指標の狙い	東部丘陵地において計画された環境保全型公園の区域の中で、最重要と位置づけられたＡゾーンから優先的に土地の購入等を図るものであり、中でも岩藤新池において進める県営地域用水環境整備事業の事業用地取得を目標とする。						